

## 子どものプログラミング教育に関する講演会開催要項

1. イベント名：子どものプログラミング教育に関する講演会
2. 開催日時：令和3年10月30日（土）15：00～16：10
3. 場所：YouTubeLive を用いたオンラインでの開催
4. 主催：秋田県子どもプログラミング教育研究会  
共催：公立大学法人秋田県立大学  
後援：秋田県教育委員会

### 5. 目的：

GIGA スクール構想により、今年から小中学校の教室では一人1台の端末を利用した教育がスタートしています。一人1台端末により、いつでもすぐに教室でプログラミングができる環境が整いました。環境が整えば、次は「どんなプログラミング教育をすればいいのか」に興味の中心が移ります。果たして一人1台端末でどんなプログラミング教育をして、子どもたちにはどんな成長が期待できるのでしょうか。Society5.0に向けて、プログラミング教育の内容を深く検討していく必要があります。

ライフイズテック社は子どもたちひとり一人の可能性を最大限に伸ばすことを目的に、これまで多くのプログラミング教室を実施しております。そこで、実績豊富なライフイズテック社の丸本徳之氏をお招きし、Society5.0に向けたこれからのプログラミング教育についてご講演いただきます。ご講演をお聞きし、これからのプログラミング教育を模索していきたいと思っております。

### 6. 対象者：

学校教員を中心に、プログラミング教育に興味があるという方

### 7. 参加費：無料

### 8. 定員：200名

### 9. 講演会の内容：

【特別講演 Society5.0に向けたこれからのプログラミング教育について

ライフイズテック株式会社 執行役員 事業開発事業部長 丸本 徳之 氏】

#### 概要

10年に一度の学習指導要領改訂により、問題解決のためのプログラミング教育が強化されます。昨年小学校でプログラミングが必修化となり、今年は中学校・技術科で「ネットワーク・双方向性」のプログラミング内容が拡充されました。そして高校では普通科で「情報Ⅰ」が必修化されます。

大学入学共通テストにも導入され、プログラミングをはじめとした情報活用能力育成の機運が高まっています。Society5.0を生き抜く子どもたちに向け、小学校から高校まで、段階的な学習を実現すべく学習指導要領が改訂されています。これからの社会がどうなっていくのか、そして学校でどういった学びを届けていく必要があるのか。今後のプログラミング教育のあり方について考察します。

10. 申込方法・申し込み締め切り：

下記のウェブサイトの申し込みフォームより登録

ウェブサイト：<https://prog.akita-pu.ac.jp/?p=2518>

申込締切：令和3年10月27日（水）17：00まで

11. 問い合わせ先：

秋田県子どもプログラミング教育研究会 事務局

秋田県立大学システム科学技術学部 寺田裕樹

秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

電話：0184-27-2218

E-mail：[prog@akita-pu.ac.jp](mailto:prog@akita-pu.ac.jp)